JIFAS NEWS
Japan international Food and Aquaculture Society
E-mail : jifas@sage.ocn.ne.jp http://www.jifas.net

〒302-0131
茨城県守谷市ひがし野 2-1-1001
TEL:080-5084-6541

# 魚市場プロジェクト・第 2 弾【バナメイ】が有望

**埼玉県で実施中の魚市場プロジェクトは、「海ぶどう」実験は継続し、同時に実施する第２弾魚種として、「バナメイ」が有望されている。以下、バナメイに関する情報を記します。**

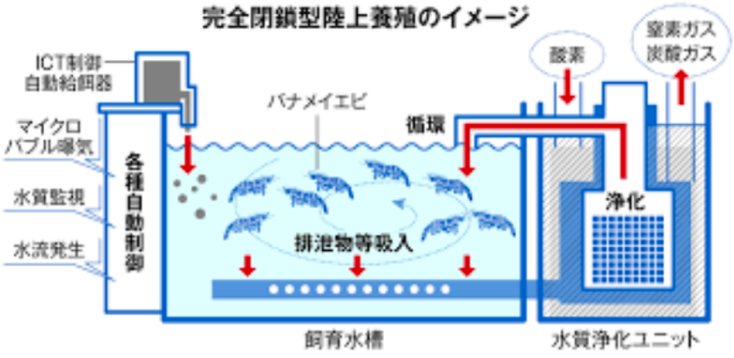
**数十年前からバナメイエビの養殖は東南アジアのマングローブ林を伐採して始まりました。環境破壊が伴い病気対策のため抗生剤も使用され他の微生物、小動物に多大な害を与えています。マングローブ林が破壊され自然が壊れてしまったのです。現在は各政府がマングローブ林の伐採を禁止していますので、バナメイエビの養殖は陸上養殖へと移行してきました。エビの需要は多いので、各社競い合うようにバナメイエビの陸上養殖を行うようになってきました。**

数十年前からすでにバナメイエビの陸上養殖は大規模に行われてきました。しかし、思うような結果にはつながっていません。水質管理が問題です。現在は小規模なバナメイエビ陸上養殖が多く、初めて挑戦する人も少なくありません。失敗を繰り返しうまく出荷までたどり着くのは難しいことです。大型の水槽は病気が発生すると全滅になります。エビを病気から守るためにも水槽を管理しやすいものに小分けすることがとても重要になってきます。全滅を防ぐためです。

**成功の鍵は！**

オゾン　$O_3$
酸素　$O_2$
バクテリア
マイクロバブル

大規模の水槽では水槽の底にいるバナメイエビの様子や餌のやりすぎを詳しく把握することができません。小規模水槽であれば観察が可能です。死がい、食べ残しを見つけ易くなります。飼育水の透明度が鍵になります。




バナメイエビは餌の調整が難しく、多くの餌を与えると水質が悪化し、エビが死んでしまいます。また、エビは脱皮などでも水が汚れます。

また、エビのフンは未消化分が多く含まれており水が汚れやすいと言われています。エビは伝染病で突然、全滅することが知られています。原因は水質汚染により飼育水の急激な酸化（P H6 以下）が原因です。水質を酸化させない技術が必要となります。陸上養殖には水質浄化技術とエビを見ながら餌を調整することが必要となってきます。ジファスでは 30 年前から大腸菌などの悪玉菌を抑え込む特殊なバチルス菌で水質を管理しています。また、ヘドロなどを改善する嫌気性菌類も使用し水質悪化を防止しています。